

加古川市農地利用最適化推進委員候補者の推薦状況（法人又は団体による推薦）【中間公表】

【推薦の状況】 ※法人等の推薦による推進委員候補者の分類記号……推団

整理 番号	被推薦者（推薦を受ける者）										推薦者（推薦をする者）							被推薦者の担い手への農地利用の集積・集約化、 遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など についての考え方
	氏名	性別	年齢 (才)	職業	経歴		農業経営の状況			推薦する 区域	(法人・団体)							
					年月日	職名・役職等	営農 年数	営農 類型	耕作 面積 (a)		法人（団体） の 名称	法人（団体） の代表者等	活動の 主たる目的	構成員 の数 (人)	構成員の 資格・要件	農業委員 への推薦 の有無	推薦の理由	
推団1	フナダ 福田 一雄	男	64	農業	令和4年～令和7年	友沢農業団体長	13	水稻	25	第1区	加古川市農業 団体連合会 加古川町南部 地区	地区代表 福岡 幸作	農業普及、農地保 全、農業団体の連 絡調整	181	加古川町各地の 農業団体に所属 する農業者	無	友沢地区の農会長として、農家戸数39戸、水田面積 678aの農地保全、農林行政に長年働いてもらった実 績、加古川町南部地区の活動にも協力してもらった。 農地利用最適化活動にも、きっと一所懸命働いてくれ と思います。	10代の頃より営農活動をしていて相続後は自身が主 になって水稻を生産してきた。 集落はほとんど水田が無くなっていくが、できる限 り水稻を生産していきたい。 遊休農地の放棄化を少しでも減らせればと思う。
推団2	マサダ 増田 博文	男	68	無職	令和5年～【在職中】 令和3年～令和5年 令和5年7月～【在職中】	岸農業団体役員後岸農業団体長 岸地区町会副会長 加古川市農業委員会農地利用最 適化推進委員	30	露地野 菜	25	第5区	加古川市農業 団体連合会 西神吉町地区	地区代表 富木 茂樹	西神吉町の農家の 生産向上	20	各地区の農業団 体に所属する農 業者	無	各地区の農業従事者が高齢となり推進委員を努める 事が困難となり、前期努めていた岸地区農業団体長で ある役が承諾をしてくれたので推薦いたします。 経歴紹介として岸地区の町内会副会長を経験、岸地 区の農業団体役員後、団体長として3年を経験しており 、最適化推進委員に適切と思います。	農業に従事していた方の相続等、又は農地の売買など で新規の農業従事者に直接話をしていたが放棄田 等にならない様に従事してもらえらる様に直接連絡をし て水稻、野菜等作物を作ってもらい遊休農地が発生し ない様に行きたい。 又水利等の作業についても町内の若手に参加してもら い少しでも農業について興味をもってもらいたいと思 っております。 新規就農される者にも各町内の方々に相談して作業 しやすい状態にもっていかれたらと思います。 前期努めた推進委員の経験を活かせるかと思ってい ます。
推団3	タシロ 田代 修三	男	70	無職	令和3年度～令和4年度 令和7年度～【在職中】	中西条町内会長 中西条水利組合会計	5	露地野 菜	2	第3区	加古川市農業 団体連合会 八幡町地区	地区代表 馬田 一成	八幡町の農家の生 産性向上、八幡町 の農業団体の連絡 調整	591	八幡町の各地区 の農業団体に所 属する農業者	無	この度推薦致します田代修三氏は、中西条の町内会 長、水利組合会計をされて、農地全般に精通されてお ります。 氏の経験を生かして農地利用最適化推進委員として 現地調査や聞き取り調査などに大いに役立つと思いま す。 従って農業委員会の活性化と発展に繋がるものと考え ます。	退職後に自家消費用の野菜を2アールほど栽培して いますが、親の代から農地の管理は営農組合に頼って おり、農地所有者として大変助かっています。 高齢化が進み、かつ調整区域のような農地の他利用 の選択が制限されている地域では、農地所有者に管理 や耕作意思の持続を期待することは現実的でない中 で、担い手への農地の集約によって効率化や耕作放棄 地の減少が図られるよう、組織や個人の担い手の育成 強化は不可欠と考えます。 ただ現実として、担い手サイドの人材確保やマネジ メント力の向上が課題としてあるのではないかとと思 いますが、今、担い手への支援策がどれほどあるのか、 拡大するためには何か必要か、また農地を委ねること による所有者の今後の負担発生等、私にとってはこれ からの勉強ですが、担い手に頼る農地の増加や耕作放棄 地の受け皿になりうるためには、支援策の充実基本 的に必要なことだと思っています。 新規参入については、当市においてどのような形態 や実績があるのかわかりません。現時点では私には、 個人での新規参入をうながしていくイメージはわか ないところです。
推団4	イトノ 伊藤 範秀	男	70	農地利用最適 化推進委員 JA理事	令和2年4月～令和3年3月 令和3年4月～ 令和5年7月～【在職中】 令和6年6月～【在職中】	平津農事部役員 平津農事部部長 平津水利組合長 加古川市農業団体連合会役員 加古川市地域農業再生協議会役 員 上部井土地改良区役員 加古川市農業委員会農地利用最 適化推進委員 JA兵庫南非常勤理事	50	露地野 菜 果実	20	第5区	平津農事部	役員 伊藤 正廣	この会は、農家相 互の連絡を保ち親 睦を図るととも に、農業施設の維 持管理等良好な農 業経営の確保及び 地域的な共同活動 をおこなうことを 目的とする。	19	この会は、原則 として平津町内 に住所を有する 農家をもって構 成する。	無	平日にほとんどの業務があるとのことから平日に自 由が利くこと、年齢的なこと、そして令和3年度から 平津農会長および平津水利組合長を務めており、米田 町の農地にそれなりに詳しいこと、さらに、令和5年 度より農地利用最適化推進委員を務めており、続ける 意欲があることから推薦に至りました。	遊休農地や活用不十分農地の発生原因を、私なりに 考えるに、①高齢化により耕作できないので、草刈り だけは依頼して自己保全している。②農業をしなくて も、他の収入で生活が可能である。③農業では収入が 得られず、耕作することで、苗、肥料、農業、農機具 の減価償却、他などで、かえって持ち出しになる。 などいろいろあると思う。 まずは農業で収入があげられる、または、生活でき ることが必要であると考え。そのためには、一般社 団法人営農組合などに集約することで生産効率をあげ ることは大切だと考える。 また、個人で少ない耕作を続ける方策として、気候 に余剰農作物を販売できる自由市場（軽トラ朝市）な どの場所があればいいなとも思う。 現在、直売所は多々あるが、出品するには規格、袋 詰め、出品、売れ残りの引き取り、手数料など、小規 模では敷居が高いと思う。作物ができたときに、規格 外でも気軽に売ることができるところがあれば、少しは 収入につながるのではないだろうか。 ここまでは3年前の考えだが、農地利用最適化推進 委員を務めてきて ④相続などで遠くに住んで居る所有者が増えてきてい る。農地の管理が出来にくい一因である。 少なくとも草刈りの依頼をして自己保全をして欲し いが出来ないのが多々見受けられる。農会を中心 に、補助金を活用し、除草機をレンタルして放棄地の 保全が出来ればと思う。 ただ、保全が出来たとしても、農業従事者の全国平 均年齢が70歳のなか、後継者が居なければ遊休地のま まなのですが。

加古川市農地利用最適化推進委員候補者の推薦状況（法人又は団体による推薦）【中間公表】

【推薦の状況】 ※法人等の推薦による推進委員候補者の分類記号……推団

整理 番号	被推薦者（推薦を受ける者）										推薦者（推薦をする者）							被推薦者の担い手への農地利用の集積・集約化、 遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など についての考え方
	氏名	性別	年齢 (才)	職業	経歴		農業経営の状況			推薦する 区域	（法人・団体）							
					年月日	職名・役職等	営農 年数	営農 類型	耕作 面積 (a)		法人（団体） の名称	法人（団体） の代表者等	活動の 主たる目的	構成員 の数 (人)	構成員の 資格・要件	農業委員 への推薦 の有無	推薦の理由	
推団5	サスモト シンゾウ 安本 重信	男	70	農業	令和4年～【在職中】 令和5年～【在職中】 令和7年～【在職中】 令和7年～【在職中】	志方土地改良区理事 加古川市農業委員会農地利用最適化推進委員 志方東大沢南部農業団体長 志方東営農組合理事	33	水稻	60	第6区	加古川市農業 団体連合会 志方東地区	地区代表 前田 秀明	志方東地区の農家の 生産向上、志方 東の農業団体の連 絡・調整	543	志方東地区の農 業団体に所属す る農業者	無	被推せん者の安本重信様は、現在、大沢南部地区の 農業団体長、及び、志方東営農組合の大沢南部支店長 を務められる中、農地利用最適化推進委員として1期 務められています。 今後も農業に関する識見と経験を生かして、農地等 の利用の最適化の推進等を誠心誠意務められる方であ ります。 よって、強く推せん致します。	私の住む志方東地区は、人口の減少、高齢化によ り、空家の増加や耕作できない農地が出てきていま す。 高齢により耕作できない圃場は、営農組合で管理し ていく等に対応していますが、営農作業も高齢化が 進んでおり、今後5年、10年後の後継者を育てていく 事が重要な課題です。そのためにも地域計画を策定 して、計画的な農地管理や後継者の育成に取り組んで いきたいと思っています。 又、地区の農業団体長に就任し、農業の舵取りをま かせられることになり、地区内の若い人たちに参加し てもらえるような環境づくりに努めていきたいと思 います。
推団6	シロフジ マサブ 庄司 学	男	55	農業	令和3年4月～【在職中】 令和3年4月～【在職中】 令和5年7月～【在職中】 令和6年4月～【在職中】 令和6年7月～【在職中】	加古川町中津水利組合委員長 五ヶ井土地改良区用排水調整委員 加古川市農業委員 五ヶ井土地改良区工事担当理事 JA兵庫南理事	5	水稻 露地野菜 果実	188	第1区	加古川市農業 団体連合会 加古川町北部 地区	地区会計担当 喜多山 常和	加古川町北部地区の農業振興及び地区 相互の事業推進 に関する連絡、調 整		加古川市農業団 体連合会 加古川町北部農 業団体に所属す る農業者	無	加古川市農業団体連合会、加古川町北部農業団体として推薦する庄司 学氏は現在、加古川市農業委員会の農業委員を勤めており、大野地区地域計画（旧人・農地プラン）の構成員で中心的担い手として活躍して貰っており、後継者がいない農地所有者や高齢で農地の活用が困難な農地所有者に寄り添い、耕作放棄地とならう担い手間の調整に常に気配りしたり後継者として自立できるように農業機械導入へのアドバイスや好適作物への助言を行い且つ、大野地区農地・保全協議会のメンバーとしての活躍も著しく率先して農地水路の維持活動は勿論、放棄田を農地に戻しコスモス祭り、サツマイモの収穫祭りを企画し田んぼに賑わいを取り戻すなど農地振興に対する行動力は目を見張るばかりです。 又、庄司 学氏は五ヶ井土地改良区の工事担当理事、用排水調整委員長も務められ、水利・治水両面での責任を担って貰っているところであります。	全国的に農業人口が激減するなかで、農地に限らず水路の維持管理においても、今までのように農家だけで存続させるのは難しいと言わざるを得ない。 私の住む加古川町、尾上町、別府町地区は都市近郊故に今後、いかに関係人口を増やしていくことが重要になってくるのではないかと思います。 私が住む加古川町中津地区では、昨が継続できなくなった農地を農会で管理し貸し農園を運営し、また加古川町大野地区では、令和7年度よりコスモス祭り、収穫祭などの食育活動を実施、令和8年以降には貸し農園や田んぼオーナー制等の導入などで農家以外が農業に気楽に関われるよう制度などで関係人口を増やしていけたらと思います。 加古川市全体でいうと、近年問題になっている米麦についても、農家が持続可能な価格であることや、魅力のある特産作物をいかに作っていくということも重要だと思います。
推団7	オノダ タカシ 大形 雅則	男	68	無職	令和2年～令和7年 令和5年7月～【在職中】	（株）ファームかんの西之山支店 企画 加古川市農業委員会農地利用最適化推進委員	35	水稻	60	第3区	（株）ファームかんの西之山支店	西之山支店長 松田 将	担い手不足、耕作放棄地発生の防止を図り、事業展開を行う	44	西之山営農組合員で（株）ファームかんの西之山支店を運営しています。	無	前回農業団体長会議で西之山から推進委員を選出してもらいたいとの要望があり、大形雅則さんをお願いしました。 今回も引き続き推進委員として活動して行くとの要望もあり、西之山営農組合で中心となって活動してもらっている大形雅則さんを推薦します。	引き続き推進委員をやらせてもらいたい。 この2年半で何筆か改善された箇所もあったが、今もまだ改善されていない遊休農地の解消（田畑へ変えてもらう様声を掛け続ける）をしたい。 また、解消しても元にもどる場合もあるので、その都度指導をしていきたい。最終的には、田畑からの農地の見回りをし、農地の所有者へ声掛けをする。 今、加古川の人口が減少している中、市には、まず、もっと魅力ある町づくりをやってもらいたい。新規参入には農地中間管理機構などと連携をして、農地の確保や情報の提供などをし安心して就農出来る様にし、若者の移住などの促進をしてほしい。
推団8	オスカワ トロクニ 前川 博邦	男	68	農業	平成31年3月 令和3年～【在職中】 令和元年12月 令和5年7月～【在職中】	認定農業者 小野農業団体長 農業機械士 加古川市農業委員会農地利用最適化推進委員	10	水稻	580	第4区	加古川市農業 団体連合会 上荘町地区	地区代表 堀本 孝	上荘町の農業団体の 連絡・調整	10	上荘町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	本人は認定農業者であり、また小野地区の農業団体長として地域農業の担い手である。 小野地区を中心に、約5.5haの農地で水稻を作付しており、近年は遊休農地解消のため耕作面積を拡大している。 過去3年間、農地利用最適化推進委員として活動し、さらにこの経験を活かして、今後も継続してもらいたい。 田畑に雑草が生い茂るのではなく、稲穂が太陽の光に輝き、風に揺れる農村風景を永く維持したいものです。 そのためには、地域で中心となる担い手の育成が必要だと思います。 また、その担い手が活動しやすいように国等の積極的なバックアップ体制が重要だと思います。 そうすることで地域での遊休農地発生防止の一助となと思っています。 子供に対する食育活動も地域の各種団体と協力して推進すべきだと思います。 そうして、育った子供がふるさとに愛着を持ち、将来地域を支える人間になってほしい。	

加古川市農地利用最適化推進委員候補者の推薦状況（法人又は団体による推薦）【中間公表】

【推薦の状況】 ※法人等の推薦による推進委員候補者の分類記号……推団

整理 番号	被推薦者（推薦を受ける者）										推薦者（推薦をする者）							被推薦者の担い手への農地利用の集積・集約化、 遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など についての考え方
	氏名	性別	年齢 (才)	職業	経歴		農業経営の状況			推薦する 区域	(法人・団体)							
					年月日	職名・役職等	営農 年数	営農 類型	耕作 面積 (a)		法人（団体） の 名称	法人（団体） の代表者等	活動の 主たる目的	構成員 の数 (人)	構成員の 資格・要件	農業委員 への推薦 の有無	推薦の理由	
推団9	マツモト 松尾 信也	男	71	無職	令和4年4月～【在職中】 令和4年4月～【在職中】 令和6年7月～【在職中】 令和6年7月～【在職中】	町内農業団体長 株式会社八幡営農取締役 市農地利用最適化推進委員 JA兵庫南理事	56	露地野菜	1.3	第3区	加古川市農業 団体連合会 八幡町地区	地区代表 馬田 一成	八幡町の農家の生産性向上、八幡町の農業団体の連絡・調整	591	八幡町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	農地利用最適化推進委員に推薦いたします。松尾信也氏は、地元船町の町内会長や八幡地区連合町内会長を務められ、又、農会長として更には（株）八幡営農の役員としても活躍されております。 現在推進委員として地元の諸事情に詳しく、現地調査や聞き取り調査など大いにその経歴が生かされております。 引き続き推進委員に再選されますことは、農業委員会の活性化と発展に繋がるものと考えます。	農業の担い手をめぐる問題としては、まず、現在の農業者が高齢化しており、次世代の担い手が減少していることにある。そのため、地域の営農や中間管理機構を通じ農地を管理してもらう方法もあるが、特に圃場整備が整っていない農地に関しては、狭小農地が多く、また、農地への進入路が狭隘なため、営農では引き受けてもらえない事情もあり、遊休農地や放棄田が増えていくのではないかと考えます。
推団10	クニミツ 久保 文明	男	76	農業	平成30年～令和2年 令和3年 令和5年～【在職中】	出河原農業団体長 出河原農業副団体長 東神吉農地利用最適化推進委員	50	露地野菜 果実	26.62	第5区	加古川市農業 団体連合会 東神吉地区	地区代表 （砂部農業団体長） 坂井 剛	東神吉の農家の生産性向上、東神吉地区の農業団体の連絡・調整	503	東神吉町各地区の農業団体に所属する農業者	無	加古川市農業団体連合会の東神吉地区として推薦する久保氏はH30年～R2年農業団体長、R3年副農団長を務められ、R5年より農地利用最適化推進委員を現在まで務められております。 各地区農業団体長、農業者からの信頼が厚い人物です。 また、推進委員として五区のリーダーとして、耕作放棄田、遊休農地、太陽光設地場所をパトロールされて、農地所有者等にアドバイスを実施されております。 耕作放棄地対策や、農地の集約など現場活動が行える人材として推薦いたします。	農地利用最適化推進委員になって雑木、雑草の生えている遊休農地を現状が良く分かる様、写真撮影し、地番、地目、面積等のデータを委員会事務局に提出し、農地所有者に指導をお願いし、遊休農地がこれ以上増えない様、対象地を見回っている。許可なく耕作地を埋め立てしている場所も日頃のパトロールで事務局に問い合わせ、確認、指導をお願いしている。又一部農家より隣接する遊休農地が太陽光業者に売却されて隣接する遊休農地と共同で付けた農道がトラクターが通れない等の問題で相談を受けており、農家が困らない種良い解決方法等のアドバイスを行っている。何故遊休農地になっているのか現在分析中であり道半ばの状態であり、今後も遊休農地の発生防止、解消に推進して行きたい。
推団11	ヤマダチ 山口 衛	男	67	パート 及び 農業	令和5年～【在職中】 令和5年～【在職中】 令和6年～【在職中】	新野辺水利組合役員 新野辺農業団体役員 五ヶ井土地改良区総代	30	水稻 露地野菜	10.3	第1区	加古川市農業 団体連合会 別府町地区	地区代表 山口 高秀	別府町新野辺の農家の生産向上、別府町の農業団体の連絡・調整	30	別府町の各地区の農業団体に所属する農業者	無	山口 衛氏は30年の営農実績を持ち、農業知識も十分にある。 令和5年より、新野辺水利組合での業務、新野辺農業団体の役員及び五ヶ井土地改良区の総代としての活動を行っている。 上記業務について創意工夫の提案もされ、全ての活動に対して意欲的である。	新野辺地区では遊休農地が増加している。理由としては、農業に関心のない者が、相続する割合が増加してきている。また、近隣には請け負い農家等もない。そのため、遊休農地はセイタカアワダチソウのような雑草が繁殖し、近くの農地への雑草種子の飛散や道路の見通しを悪くしたりさせて、問題となっている。私はそのような状況を改善すべきと考える。